

漢文句法④ 否定・禁止（不可能） 【問題】

漢字	読み	訳
不能	―能 ^{あた} はず	―できない
不得	―ヲ得 ^え ず	
不可	―ベカラず	―に耐えられない ・―できない
不勝	―ニ勝 ^た へず	
不足	―ニ足 ^た らず	・―する価値が無い、―に値しない ・―できない、―に十分でない
不可勝	・―ニ勝 ^あ (た)フベカラず ・勝 ^あ ゲテ―ベカラず	―しきれないほど多い

【練習】□に送り仮名を入れ、傍線部を書き下し、口語訳せよ。 (は置き字)

1 医^{リテ}至^い日^{ハク}、「疾^{やまひ}不[□]可[□]為^{をさむなり}也^{なり}。」 為^レ治^す

書き下し文

口語訳

2 候吏^{こうり}還^{かへリテ}白^{まをス}、「河水流^{りう}漸^{シス}。無^{クンバ}船^ト不[□]可[□]濟^{わたル}。」 濟^{河を渡る}

(書) (訳)

3 且^{かつ}欲^{スルモ}与^と常馬^{シカラント}等^上、不[□]可[□]得^う。得^{実現する}

(書) (訳)

1 医者が到着して言うには、「――」。
〈病入膏肓〉

2 斥候が戻ってきて報告するには、「河は氷が解けて水が流れています。船が無ければ――」と。〈十
八史略〉

3 せめて普通の馬と同じ位の力を
出そうとしても、――」。〈雑説〉

4 卷土重来**未**可^レ知^ル

(書)

(訳)

5 項伯曰、「天下事**未**可^レ知^ル。：

(書)

(訳)

6 「子与^レ文遊^ブ久^シ矣[。]大官**未**可^レ得^ル、小官公又弗^レ欲^セ。

大官 高官の職

(書)

(訳)

7 躊躇**不**能^ル去^ル

(書)

(訳)

8 懿笑曰、「吾能料^ハ生、**不**能^ル料^ル死[。]」

(書)

(訳)

9 其人**弗**能^ル応^ル也[。] 応答える

(書)

(訳)

10 轍年少、**未**能^ル通^ス習^リ吏事[。]

通習 習熟する 吏事 役人の仕事

(書)

(訳)

4 敗れた項羽が再び盛り返すかどうか、――。〈杜牧・題烏江亭〉

5 項伯が言うには、「天下争いがどうなるかは、――。〈史記〉

6 〈孟嘗君がある食客に言うには〉「あなたは私（文）と交遊するようになって長い。あなたは高官の職は――、一方で下級役人にはあなたはなりたくないだろう。〈戦国策〉

7 ためらい足が止まって、――。〈白居易・長恨歌〉

8 司馬懿が笑って言うには、「私は生きている人間のすることは推測できるが、死んだ人間のすることは――。」と。〈十八史略・死諸葛走生仲達〉

9 その人は――。〈韓非子・矛盾〉

10 わたくし蘇轍は年が若く、――。〈蘇轍・上枢密韓太尉書〉

11 莊^{さう}不^レ得^レ擊^{うツ}。[□] 擊^{ウツ}襲^ウ

(訳)

12 軍不^レ得^二休息^{スル}。[□]

(書)

(訳)

13 項王自^{みづから}度^{はかり}不^レ得^ル脱^{スル}、[□] 謂^{いヒテ}其^{そノ}騎^ニ曰^{いハク}、

(書)

脱^{ハク}脱^{ハク}出^デする

(訳)

14 信使^{しム}決^セ水^ヲ。 且^{そノ}軍大半不^レ得^ル渡^ル。[□]

(書)

(訳)

15 斑^{はん}未[□]得^ス殺[□]。

(書)

(訳)

16 君^{きみハ}長^{ナリ}者[□]、不^レ忍^ス刺^ス君^ヲ。

(書)

(訳)

17 不^レ忍[□]殺^ス之[□]、以^{もつテ}賜^{たまハント}公^ニ。[□] 之^{この}馬

(書)

(訳)

11 項^{こう}莊^{そう}は沛^{はい}公^{こう}を――。〈史記・鴻門之会〉

12 兵士たちは――。〈史記〉

13 項王は、もはや――と自らさと
とり、配下の騎兵に話しかけて
言うには、〈史記・項王自刎〉

14 韓信はせき止めていた川の水
を決壊させた。(敵の)龍且の
軍は大半が――。〈十八史略〉

15 斑は犖^{らく}を――。〈史記〉

16 あなたは有徳の人だ、だから
――。〈史記〉

17 ――、よってこいつをあなたに
やろう。』と。〈史記・項王自刎〉

18 曾^{そう}皙^{せき} 嗜^た 羊^{やう}棗^{さう}。而^{しかう} 曾^{さう}子^し 不^レ忍^レ 食^{くら} 羊^{やう}棗^{さう}。
羊^{やう}棗^{さう} なつめの実

(書)

19 叡^{えい}泣^{キテ} 曰^いハク、「陛下^{すで} 已^ス 殺^そ 其^ノ 母^ヲ。臣^ト 不^レ 忍^ス 殺^ス 其^ノ 子^ヲ。」

(書)

(訳)

20 張^{しや}良^{シテ}謝^い 曰^{ハク}、「沛^{はい}公^は 不^レ 勝^は 梧^{はい}杓^{しやく}、不^レ 能^レ 辞^{ジスル}。」

杓^{しやく} 酒^{しゆ}を飲^のむこと 辞^ジ お別れの挨拶をする

(書)

(訳)

21 罷^ひ軟^{なんニシテ} 不^レ 勝^は 任^{にんニシテ}、惰^だ慢^{まんニシテ} 不^レ 親^{ルハ} 事^{みづからセ}、免^ヲ 官^ズ

罷^ひ軟^{なん} 体が弱い

(書)

(訳)

22 白^か頭^{ケバ}搔^{ニク} 更^{ニク} 短^{ニク} 渾^{すべ} 欲^ほ 不^レ 勝^{つス} 簪^{ラン} 簪^ト

欲^ホ (今にも) : しそうだ・しかかっている 辞^ジ お別れの挨拶をする 簪^{ラン} かんざし

(書)

(訳)

18 曾皙はなつめの実が好物だった。そういうわけで(曾皙の死後) 子の曾子は――。〈孟子〉

19 叡が泣いて言うには、「陛下は既に母鹿を殺された。私は――。――と。〈十八史略〉

20 張良がおわびして言うには、「主の沛公はこれ以上――。〈史記・鴻門之会〉

21 ―、怠けて自分で執務しない者については、免職とした。〈十八史略〉

22 白髪頭を搔くと髪がさらに薄くなり、全く――。〈杜甫・春望〉

■「不可勝」は二通りの読みがあるので、二通りの書き下し文にする。

23 如^二臣之比^一車載斗量^ト不可^二勝^一数^一。

(書)

(訳)

・不可^レ勝^レ数^一。

(書)

24 遇^二禍災^一者、不可^二勝^一数^一。

(書)

(訳)

・不可^レ勝^レ数^一。

(書)

25 財不可^二勝^一用^一。

(書)

(訳)

・不可^レ勝^レ用^一。

(書)

23 (呉国には)私程度の人間なら、車に載せ、マスに入れて計っても、――。』と。〈十八史略〉

24 思いがけぬ災難に遭った者は、――。〈史記〉

25 〈孟子〉

不^ズ違^ン農^バ時^タ、穀^ガ不^レ可^ヘ勝^ニ食^ヲ也^一。

数^ス罟^コ不^レ入^ニ洿^イ池^ラ、魚^イ鼈^ニ不^レ可^ヘ勝^ニ食^ヲ也^一。

斧^フ斤^{キン}以^レ時^モ入^ツ山^シ林^{リン}、材^モ木^ク不^レ可^ヘ勝^ニ用^ヲ也^一。

穀^{コク}（收穫する）穀物 魚^{イサ}鼈^{カメ} 魚類 用^{モチ}使^フう

（書）

（訳）

・不^ル可[□]勝[□]食[□]也[□]。

（書）

・不^ル可[□]勝[□]用[□]也[□]。

（書）

26 民衆を賦役に重用するに当たり農作業の時期を適切に考慮するならば、――。目の細かい網を池に入れて全て取り尽くそうとしないならば、――。斧を持つて、適切な時期だけ山に入るならば、――。〈孟子〉